

都 退 教 協 だ よ り

No.314号

2023年8月16日発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

参加者の多くが発言できた都退教協総会

7月5日(水)、東京教組会議室で第49回都退教協定期総会が行われました。

猛暑が続く中、総会参加者は少数でしたがほぼ全員が発言でき、活発な討論ができました。

昨年に引き続き森谷憲光さんに議長を務めていただきました。

来賓の竹田日退教会長は、来年は50周年を迎える日退教ですが、退女教も含め日教組の退職教職員組織として平和・反戦の運動を続けていきたいと挨拶しました。

その後、寄せられたメッセージの紹介がありました。

※メッセージは、この後に掲載していません。

川角事務局長の経過報告、安藤会計の決算報告、長谷川会計監査の会計監査報告、谷口会長から活動方針が提案され、質疑討論が行われました。議長から近況も含めて発言を促され、多くの報告、意見がありました。以下、発言の概略を紹介します。

森谷 大田区で区議をしていた糸瀬さんの故郷、対馬を案内していただきました。釜山に近い対馬は、防人の島であり朝鮮通信使の入り口ですが、コロナ禍で観光産業は大打撃を受けました。糸瀬さんは、原発の廃棄物の最終処分場誘致の反対運動の中心で活躍していました。

林 平和運動センターの事務局次長として、青森の反核燃集会に行きました。六ヶ



所村の核燃料再処理施設は延々と延期され完成の見通しもない。原子力による補助金は産業でもないのに金が入り麻薬漬けのような状態。辺野古新基地建設も同じ構造だと思う。

長谷川 朝鮮高校の無償化実現にとりくんでいる中で、東京の朝鮮学校を共に支える会が続々と誕生しています。あとは荒川の第一初中級学校だけになりました。東京教組の退職者は、どこの支える会でも活躍しています。

藤崎 江戸川の小学校に勤務しています。パワハラがひどく、経験不足の主幹により学校が回らない、低学年が荒れています。職員会議もなく連携がないため学校がバラバラになっている。人を増やさない働き方改革ではだめです。

浅川 会計年度職員として教室に入れない子どもの支援など特別支援教室で勤務しています。朝鮮学校でも情緒障害の支援をしています。

安部 先が読めない時代になっていると思う。軍事中心の世の中になっていることに怒りを感じます。

中村 教員が足りないのは、教職に魅力がなくなっているからです。

土井 日教組の教育相談員をしています。学校現場が相当厳しく、大人社会の制度弊弊のしわ寄せが子どもに行っていると感じる。あと5分、子どもや親の話を聞いてあげればよかったのにとすることがよくある。また、校長が発達障害の診断をつけさせて特別支援に追い出そうとする相談事例も多い。

深澤 理科の講師をやっていたが、子どもが落ち着かず歩き回る、廊下でボールを蹴る、6年生が荒れているなど経験した。チャプチュの会で大学生と共に、ネパール、ミャンマー、ベトナムなどの子どもたちの日

本語支援をしている。地域では町会の総務もやり多忙です。

木谷 ダイビング大好きであちこちの海を満喫していました、今はお弁当をもってシルバーパスで遠足を楽しんでいます。

別所 寺の住職になって23年京都と東京を半々の生活。法要に故人の孫、ひ孫が来るようになり、次の日本の主役だと思って、その子たちに話すようにしている。「間違っている」「戦争は絶対にダメだ」と言い張らなきゃダメだ。

城田 退職して12年、再任用、講師をしてきました。金木犀の選定を頑張ったら肩が痛み、医者に半年かかると言われる歳になりました。反原発の総務省前のテントに泊まり込んだり、今も座り込みをしています。

総 会 宣 言

本日私たちは2023年度東京都退職教職員協議会第49回定期総会を開催いたしました。

「新しい資本主義」を標榜する岸田政権は安倍元首相でさえやらなかった悪法を次から次へと強行採決を繰り返す最悪の政権だと言えるでしょう。

また、ロシアのウクライナ軍事侵略は長期化をし、戦争犠牲者は増え続けベラルーシへの核配備などと核戦争の危機にも直面しています。日本はNATOに同調した経済制裁、軍事援助などをせず、ロシアの隣国として平和外交を開始すべきです。日本政府はこの機に乗じて「台湾有事」を煽り安全保障三文書を閣議決定し、敵基地攻撃能力を保有する軍事費倍増、南西諸島の軍事要塞化を予算化し、さらには9条改憲を目論んでいます。

衆議院憲法審査会は慣例を無視して定例開催され、改憲項目についての議論を急ピッチ

で進めています。世論調査（共同通信社23/5/1）では改憲の「機運が高まっていない」が70%、「高まっている」は28%で昨年とほぼ同様でした。

岸田政権は森友・加計・桜を見る会・日本学術会議の任命拒否などの問題解決に蓋をしたまま安倍首相の国葬強行、旧統一教会との政治癒着と人権侵害問題の先延ばし、国会をないがしろにした安保三文書閣議決定、原発回帰法案、入管難民法改悪案を強行しました。

今年度年金額は1.9%引き上げになりましたが異常な物価高騰に実質目減りしています。生活必需品、光熱水費の高騰は私達高齢者、非正規労働者、シングルマザー等弱者の生活を直撃しています。健康保険証廃止と数々の不具合が生じているマイナンバーカードは直ちに廃止すべきです。

政府は原発回帰を進める法案を束ねて強行採決をしました。60年を超える原発を稼働させたり、福島原発事故で発生した汚染水の海洋投棄強行をしようとしています。また、高校、幼児教育など教育の無償化から朝鮮学校を排除しており、憲法、国際人権規約に違反しています。

私たちは本日ここに集い、真摯な討論を重ねて運動方針案確立しました。当面する政治

課題はこの秋にも予想される解散総選挙です。日政連議員候補の当選を始め改憲阻止の勢力の拡大のため全力を尽くし奮闘することを宣言します。組織確立を実現し、高齢者が安心して暮らせる社会保障制度の改善要求の闘いを全力で取り組んでいきます。

2023年7月5日
東京都退職教職員協議会
第49回定期総会

総会に寄せられたメッセージ

参議院議員

古賀ちかげ

第49回東京都退職教職員協議会定期総会のご開催にあたり、心よりお祝いを申し上げます。

昨年7月の参院選では、皆さまからご支援をいただき国政へのスタートに立つことができました。皆さまの思い願いをしっかりと受け止め、これからの国会活動に邁進していく覚悟です。

6月21日に閉会した通常国会では、本会議、予算委員会、憲法審査会、文教科学委員会等で計10回発言する機会をいただき、学校現場の現状、社会保障制度、参議院の緊急集会の意義、等々について質問・発言しました。

ロシアによるウクライナ侵攻や台湾情勢、北朝鮮の動向など、様々な国際情勢の変化に乗じて憲法改正の動きが加速しています。立憲主義、民主主義、平和主義を大切に、平和憲法の改悪を断固阻止して参ります。

今後も退職教職員の皆さまと連携しながら、平和憲法を守りいかに国会活動を続けて参ります。

そして、皆さまがこれまで大切にされてこられました「教え子を再び戦場に送るな！」の不



滅のスローガンのもと、子どもたちが戦場に行くことの無い平和な社会、誰もが安心して暮らし、希望が持てる社会をつくるために活動して参りますので、何卒引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、深くお願いを申し上げます。

本日ご参集の皆さまのご健康と益々のご活躍を心からご祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

東京高齢・退職者団体連合

会長 遠藤 幸男

貴会の第49回定期総会の開会おめでとうございます。

日頃、東京高退連の諸活動に対して、ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

コロナ禍での活動の制約がようやく解消していますが、まだ、感染が完全に収束に至らず、何かと制約を受ける中での活動になっておりますが、私たちを取り巻く情勢は、生活必需品の高騰をはじめ、高齢者の生活は一層苦しくなっております。

私たち東京高退連は、「二度と戦争をしない日本へ」を合言葉に、岸田政権のロシアによるウクライナへの侵略戦争を利用した、敵基地攻撃能力、核兵器の共有使用、軍事費のGDPの2%以上など政策に反対し、9条を含む憲法改悪を阻止する活動を、加盟組織の仲間

とともに進めております。

東京都退職教職員協議会の皆さん、共に頑張らしましょう。

都庁退連合

会長 小林民治

都退教協の皆様、本日は第49回定期総会誠にありがとうございます。都庁退連合から一言お祝いを申し上げます。日頃から都退協の仲間としてご指導いただきありがとうございます。とりわけ谷口会長には都退協の中心となって牽引いただいていることに感謝を申し上げます。今、私達の生活はウクライナ戦争などで急騰する物価高が直撃し、わずかばかりの年金増ではとても追いつけない状況です。

そうした中、岸田政権は広島サミットでお祭騒ぎでしたが、被爆者や市民の願いである「核兵器廃絶」には一歩も踏出せていません。

また、ウクライナ戦争では停戦に向けた新たな努力が求められる中、米国やNATOに同調・追随するだけでは国の進路を誤ることになります。

加えて、安保三文書に基づく敵基地反撃能力の保有など軍事力の強化と防衛費倍増方針を決定し、戦争をする国づくり、大増税路線に進み出しました。私達はこうした岸田政権に反対し、戦争をしない国づくりをめざして共に頑張らしましょう。

むすびに、定期総会のご盛会と貴会の益々のご発展を祈念しご挨拶と致します。

立川市員議員

原ゆき

東京都退職教職員協議会 定期総会のご開催まことにありがとうございます。

日頃より大変お世話になっております。

元東京教組組合員、立川市議会議員 原ゆきです。

4月に第二子を出産し、立川市議会会議規則における産後8週間の産休期間が明け、ただいま6月の定例会の会期中です。



実は今議会において、立川市議会で初めて、委員会へのオンライン出席をいたしました。オンラインでの委員会出席については、昨年からの議論があり、当初は「重大な感染症のまん延」「災害の発生」のみを出席の要件とすることとしていましたが、当時私が妊娠中であったことから、議会運営委員会の協議の中で、「当事者がいるのだから、出産や育児もその要件としてはどうか。」との発言があり、議論が深まりました。議会運営委員会での協議だけでなく、広く議員から意見を求めるものとして、オンライン委員会の運営について開かれた協議もなされ、私も参加しました。そして、今年3月の定例会で委員会条例と会議規則の一部を改正。4月から「重大な感染症のまん延防止の観点、災害の発生、出産、育児、看護、介護などのやむを得ない事由」がある場合、オンラインでの出席ができることになったのです。

多摩地域でも初めての試みとして、東京新聞・読売新聞の多摩版でとりあげいただき、デジタル版を添付いたしましたので、ご一読いただけましたら幸いです。

女性の社会参加、男女平等が注目されるようになって20年以上経った今、産休や育休など、先輩方が勝ち取ってくださってきた権利やその意味を、現役世代の私たちがしっかり理解して、そのバトンを引き継ぎ、未来の世代へと繋げていきたい、その役目を果たしていきたい思いです。

また皆さんに直接お会いしお話できる日を楽しみにしております。今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

元気なうちから「介護」を家族で話そう！ 支えられ上手になろう！

7月3日日退教福祉部会主催の介護制度の学習会がありました。講師の結城康博さん（淑徳大学教授）は、危機的な状況の介護保険制度の動向と、介護制度を上手に使う（介活）について分かりやすく説明してくれました。

これから介護サービスが必要な人が急増します。利用者負担増、高所得者の保険料引き上げなどにより、介護職員の人手不足解消と賃金引き上げが急務です。しかし、保険料の引き上げも限界に来るので団塊の世代は何とかなるが、団塊ジュニア世代まで制度を安定的に維持するのは難しい状況です。

元気なうちは在宅介護？

認知症でなければ在宅で介護サービスを受ける選択がいいようです。要介護が軽いほど施設での集団生活が濃くなりトラブルも多いそうです。特に夫婦で施設に入ると配偶者の介護負担が増えてしまいます。特養、老健、グループホームなど高齢者の施設はたくさんありますが、寝たきり状態になってから入所することがお勧めだということです。

高齢者施設の選び方

本来施設に入るのに身元保証人は必要ありませんが30%以上の施設が署名を求めています。認知症の場合は、成年後見人が不可欠になります。家族が施設の契約や財産管理ができればいいですが、そうでない場合は準備しておく必要があります。ではどんな介護施設がいいのか？

①ボランティアが多い介護施設は良質。（地域の人やボランティアが来る施設は虐待が少ない。）②介護職員の離職率が低いことが決め手。

（年間15%以下が目安）③施設の質は職員配置次第！（利用者1.5～2人に職員1人）④介護士の有資格者率が高ければ安心。（介護福祉士50%以上なら大変良い）⑤研修制度の充実がサービスの質に影響する。⑥建物が良いからといって良質な介護施設とは限らないの6か条だそうです。なかなか難しいけど、見学の際には必ず聞いておく必要があります。

介活（介護活動）6か条の提言

【高齢者の意識向上】

- ①要介護者になったら「支えられ上手」に！
- ②介護サービスは、「ロコミ」が大事！
- ③元気なうちから家族で「介護」を話す！
- ④相談できる人や機関を確認しておこう！
- ⑤かかりつけ医を持つこと！
- ⑥70歳まではアルバイトでよいので働こう！

公的な介護サービスを使いながら、自己実現・人間らしい尊厳を持って生活するためには、①老後の家計状況を考え②計画的に生活習慣を変え③人間関係の構築に心がけ④周りの人とのかかわりを大切にする。そのために必要なのは、好かれる高齢者になろう！

なんだかんだ言っても、人柄のいい高齢者は支援しますが、そうでない高齢者は取り残されてしまいます。介護は感情労働であるがゆえに、人間関係が介護の質に直結します。マナーの低い要介護高齢者やその家族が増えて施設も悩んでいます。面倒な高齢者は入れない施設もあるそうです。

在宅介護の場合は、ケアマネージャーと在宅ヘルパーが重要です。いかに訪問介護事業所と関係を深めるかがカギになります。

会費・カンパを振り込んでいただき、ありがとうございます。

会費を納入してくださった方々（敬称略） 岸本靖子、浜口由利子、持川徹、関川俊一、清野義光、坂本長則、清水和江、柴田迪春、柴田悦、鎌田勝吉、

カンパしてくださった方々（敬称略） 浜口由利子、坂本長則、柴田迪春、柴田悦、

・ 8月15日現在

ひとこと

柴田悦・柴田迪春 4月より訪問介護を受けていますが気持ちだけは、いつも前向きで、日々、訪問してくださる方々と楽しく会話しています。送っていただいた WEEKLY（東京教組の機関紙）を見ながら。当時、給特法反対の議論を職場会（今は死語？）で侃々諤々やったことを思い出します。

川柳

「独裁者！」言われて怒る独裁者
理解得たふりして放出秒読みに 中村滋
我が主治医「長生きしたけりゃ歩きなさい」と
中村光夫
父の日や飲みすぎるなど酒届く 谷口滋

東京都退職教職員囲碁大会のお知らせ



初心者からベテランまでどなたでも参加できる恒例の囲碁大会を開催します。勝敗にこだわらず、同好の方々と囲碁を楽しみ、都高教退職者会の仲間と交流を深めることもできます。昼食・飲み物は用意いたします。参加者全員に参加賞を、上位者には、賞品を差し上げます。

1. 日時 9月29日（金）午前10時～
2. 場所 東京都教職員互助会
ナール御茶ノ水2階 会員集会室
3. 参加費 無料
4. 申し込み
・ハガキ（〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2
日本教育会館2F 東京教組内 都退教協宛）
・メール（totaikyokyo@tokyokyouso.org）
・FAX（03-5276-1312）のいずれかで、名前、連絡先と囲碁大会参加の旨記入して都退教協あてに9月9日までにお申し込みください。
5. 生きがい支援協会共催
都高教退職者会 共催

編集後記

- ◇ 残暑お見舞い申し上げます。8月は慰霊の月。会員からも「今年もヒロシマに来ています」「台風の中、長崎にいます」「千鳥ヶ淵にお参りしました」と便りが届く。連日放送された戦争ドキュメント、ドラマが充実していました。再放送が多かったけれど、これだけの資料は、私たちにとっても財産だと思う。
- ◇ 後期高齢者医療被保険者証が届いた。「マイナ保険証」への不安・不信をかわすための「資格確認証」。発行・更新の申請が要らないという。ならそのままよい！

（谷口記）